

令和6年度 海浜打瀬小学校 学校グランドデザイン(学校経営案) …重点

【千葉市教育施策の基調】 **人間尊重の教育** I 児童生徒の資質・能力の育成 II 児童生徒の育成を支える教育環境の整備

【千葉市学校教育推進計画キャッチフレーズ】 「夢にチャレンジ 未来を拓け！」

【千葉市の目指すべき子供の姿】 「夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども」

【千葉市教育目標】 「自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ」

「自分を磨く子」の育成 ～子供の可能性を信じ、一人一人の良さを伸ばす学校づくり～

めざす学校の姿

- ・明るく楽しい学校
- ・安心で居場所のある学校
- ・個性を認め合える学校
- ・仲間とかかわりながら成長できる学校

めざす児童の姿

- 1 **かかわって磨く子**
- 2 **磨く方法を学ぶ子**
- 3 **磨く土台をつくる子**

めざす教師の姿

- ・子供と家庭、地域に信頼される教師
- ・専門性を備え、誠実な教師
- ・一人一人に寄り添った支援をする教師
- ・子供と共に伸びる教師

1 かかわり

人や自然・社会と主体的にかかわる意欲と方法を身につけた子

2 まなび

知識や技能だけでなく、学習への意欲や方法を身につけた子

3 心・からだ

主体的な学習習慣と健康で安全な生活習慣を身につけた子

◎挨拶の奨励

・気持ちの良い挨拶をすることで、人とよりよくかかわろうとする気持ちを醸成する

◎異学年交流活動(ハッピー活動)の充実

・リーダーシップとフォロアーシップ、思いやりや役割意識を高める

◎自治的活動の推進

・委員会活動や学級活動を充実させる
学校、学級をさらによくするために自分は何をするかを考え実行する

◎子ども円卓会議を活用する

・専門性や豊富な体験を有するゲストを積極的に招聘する

・栽培、製作、実験・観察、実習等を通して実感を伴った活動を多く取り入れる

◎教育相談の充実と心に寄り添う教育の推進

・悩みや心配事等に対して受容的な態度と共感的に聞く姿勢をもって対応する
・道徳教育を推進し日常化を図ることで豊かな心を育む契機とする。

◎誰一人取り残すことのない教育の推進

・様々な困り感を持つ児童への対応について共通理解を図り、指導体制を整える

◎ねらいを明確にした授業づくり

・つけたい力やねらいを明確にして、わかりやすい授業構成を心掛ける

・見通しと振り返りを大切に

◎学ぶ過程を大切に授業づくり

・学習の見通しを持たせ、学ぶ過程を大切にしたい授業づくり、各教科の見方・考え方を働かせるための発問の工夫をする

◎子供の興味・関心を大切に主体的な学びの充実

・興味・関心をもつとともに、疑問、共感、矛盾、感動などの思いがわくような指導の工夫をする。

・学んだことが生かせる場を用意する

◎よさや成長を見出す評価

・学習活動において、子供のよさ、努力、成長を見出すプラスの評価を心掛ける

◎基礎基本の定着

・学習規律の定着を図ることで安心して学べる場を作る

・聞き方・話し方の約束を身に付けさせるとともにお互いの思いや考えを尊重する態度を育て、学び合いを充実させる

◎健康な生活リズムの習慣化

・睡眠や食事・歯磨き、手洗い等の生活習慣を家庭と連携して定着を図る

◎多様な運動と体力づくりの日常化

・体育学習や行事の中で、運動の量や質・多様性を高めるとともに、安全や健康に対する理解を深め、態度化を図る

◎レジリエンスの育成

・困難な問題や脅威に直面した時の回復力、適応力を育てる。

(温かな学級の雰囲気づくり、自分や他者を大切にする気持ちを育む、成功体験を多く経験させ自己肯定感を高める 等)

◎防犯・防災・交通安全教育の充実

・自分の身を自分で守れるよう、防犯や交通安全の学習の充実を図る

・火災・地震・津波を想定した避難訓練を計画的に実施し、防災意識を高める。

◎食育・保健学習の指導の充実

・給食を通じた食育指導の充実を図る

・養護教諭や栄養士、外部機関と連携した健康教育を推進する

子供たちの可能性を引き出すために取り組みます

◎「海浜打瀬の子は、みな心優しく豊かな資質と可能性をもった子供たち」その能力を可能な限り引き出していきます。

◎「学校の安全は、地域の安全から」学校・地域・保護者が連携し、協働して安全を高めるための活動に取り組みます。

◎「学校での姿、家庭での姿、一緒にして初めてわかる子供の心」教職員と保護者のパートナーとしての関係が、子供の理解と支援の原動力です。教職員の児童理解・教育相談分野研修の充実とともに保護者の学びの場を支援します。

◎「子供の個性を受け止める多様なスケールをもつ」特別支援教育の考えに基づく子供の理解と手だての具体化を目指します。

◎「教職員みんなで支援」共通理解のもと、全教職員が児童一人一人へのかかわりを深し、支援を行います。